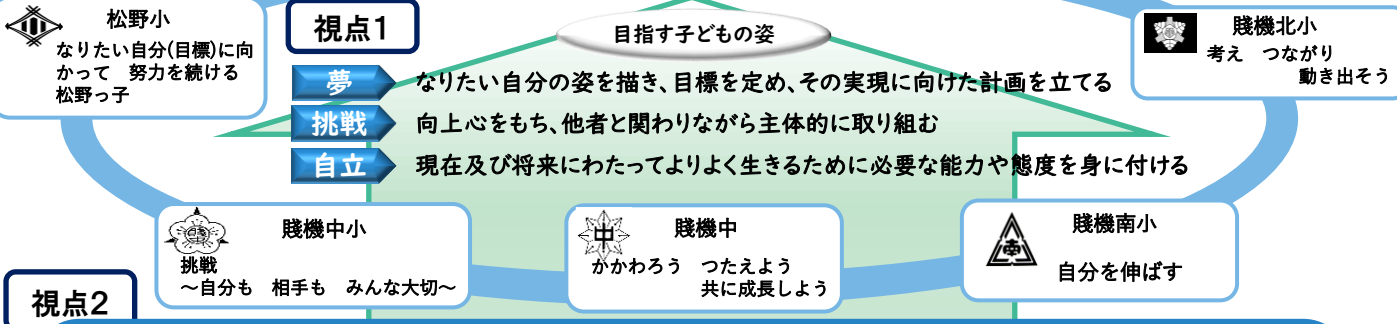




学校教育目標 「夢・挑戦・自立」



視点2

主体的に学び続ける児童生徒

- 「知りたい」「学びたい」「できるようになりたい」と思わせる授業への取組み (自己選択・自己決定・自己調整・単元構想の工夫)
- 基礎的・基本的学習内容の定着を図る
- 個に応じた課題の提示と支援
- 家庭学習の工夫

【学習】

自分の良さを知り、よりよく生活する児童生徒

- 一人一人の特性に合わせた支援の充実(個別支援)
- UDの視点を取り入れた環境づくり

【特別支援教育】

地域を大切に思う児童生徒

- 地域の特性を生かした自然体験や社会体験により、人々の思いや地域社会への関心を高める
- 地域の人々と共に課題解決に臨む子を育てる

【教務部】

自分たちで考え、行動する児童生徒

- 自ら課題を発見し、話し合って合意形成し、実践する
- 行事や異校種・異学年交流等を通して、良好な人間関係を築く
- 自分の成長を振り返り、新たな目標をもつ

【特別活動】

自他を認め、思いやりのある児童生徒

- 多様性を認め合い、互いを尊重する風土を築く
- ルールやマナーを自分たちで考え、実践する
- 道徳重点項目の共有
 - 思いやり ○個性伸長 ○希望と勇気・努力(克己)強い意志

【生徒指導】

自己の健康管理ができる(メディア・生活習慣)

【学校保健】

組織的・継続的に取り組む教職員

- 子どもを語る会や交流事業及び各部会での協働

【教職員研修】

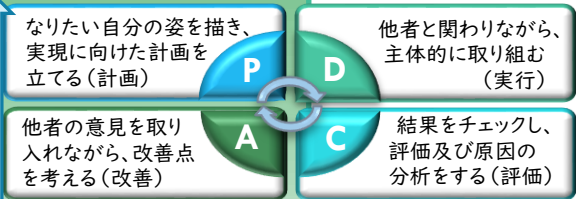
視点4

グループ校の軸となる取組「キャリア教育」

視点3

<ツール> キャリアパスポートの活用

- 子ども自身の振り返りに対し「保護者」「教職員」「友達」等からコメント(評価)をもらい、学びを価値付ける
- 全ての教育活動をPDCAサイクルの視点で捉え、主体的で継続的に取り組む子どもを育成する



賤機の子に育成すべき基礎的・汎用的能力

4能力	人間関係・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応力	キャリアプランニング能力
重点	コミュニケーション力	自分の良さを理解する力	挑戦する力	将来を見通す力
具体的要素	互いに尊重する関係を築きながら、協働することができる ◇他者の個性を理解する力 ◇コミュニケーション・スキル ◇チームワーク ◇リーダーシップ 等	自分の良さに気づき、その良さを活かそうとすることができる ◇自己の役割の理解 ◇前向きに考える力 ◇自己の動機付け ◇ストレスマネジメント ◇主体的行動 等	向上心を持ち、目標に向かって、継続的に取り組むことができる ◇情報の理解・選択・処理 ◇課題発見・計画立案 ◇実行・評価・改善 等	卒業後や社会人になったときのことを見通し、準備する ◇学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ◇将来設計 ◇行動と改善 等

- 5校の校長、自治会・PTA・地区諸団体の代表で小中一貫学校運営協議会を組織する
- 小中一貫学校運営協議会委員が5校の教育活動を視察しグループ校共通の指標と各校独自の指標について評価するとともに、学校運営協議会を通して児童生徒の健全育成や学校・地域の活性化を図る

